



インスピレーションになるう

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
 ■会長■ 五十嵐 博章 ■幹事■ 松尾 博之 ■会報委員長■ 普天間 操
 ■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2018-19年度

第2661回

2019年1月18日(金) 点鐘12:30 《晴れ》

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

◇本日のゲストスピーカー
地区職業奉仕委員長 鶴沢 和広様

◆会長報告 五十嵐 博章会長

2019-20年度の国際ロータリーのテーマがマーク・ダニエル・マロー二一学年度国際ロータリー会長から発表がありましたので、そのメッセージをお伝えしたいと思います。

『ロータリーは世界をつなぐ』

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやってきたポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由は、見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りにはポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力を通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したい

と願う人びととの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形つくっています。2019-20年度、ロータリーは新たな戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方法が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在になっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気であれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族思考の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとする事で、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためにつながりを築いてまいりましょう。

ということで、ロータリーには、いろいろな奉仕活動がありますし、親睦活動を通して、会員相互の交流をますます深め、会員それぞれがロータリーライフをエンジョイできるようにできれば良いかなと思っております。

◆委員会報告

特にございませんでした。

◆幹事報告 松尾 博之幹事

次週25日(金)の例会は、「餅つき懇親夜例会」です。

集合⇒ 16時30分

点鐘⇒ 18時15分

会場⇒ 湾岸食堂ちば (中央区中央港 1-10-11)

◆ニコニコボックス報告

《五十嵐博章会長・松尾博之幹事》

本日のゲストスピーカーの地区職業奉仕委員長・鶴沢様、お忙しいところ、有難うございます。後ほど卓話を宜しく願い申し上げます。

さて、晴天が続くことは良いことだと思うのですが、その反面、空気が乾燥しインフルエンザが流行っていて、注意報から警戒レベルとなりました。いろいろな予防対策をされている方がおられると思いますが、今朝のZIP情報によると、一日5回の歯磨きも対策の一つとして良いそうです。皆様、どうぞご自愛くださいますように。

《石川 知生会員》

時間が経ってしまいましたが、昨年の55周年記念例会でのゴスペルの演奏、お疲れ様でした。

拙い指導でしたが、皆様とともに楽しんで歌えてとても良かったです。

◆◆◆ 本日の卓話 ◆◆◆

演 題⇒ 『職業奉仕について』

卓話者⇒ 地区職業奉仕委員会

委員長 鶴沢 和広様



2019年には平成が終わり新しい時代を迎えます。我々ロータリアンにも変革して行くことが求められています。現在、日本には約9万人のロータリアンが在籍していますが最盛期には12万人を数えました。

日本は、ロータリー発祥の地であるアメリカに次いで第二のロータリー大国でした。(現在はインドに次いで第三位) 今世紀に入って欧米先進国の多くでロータリアンは減少していますが、その中でも日本の減少率が突出しています。メンバーの退会防止や会員増強が思うほど進まないのは日本の景気の影響だけでしょうか。日本のロータリーは、もっと積極的に奉仕活動を行い、それを世界に発信していくことが求められています。

日本のロータリーが大切にしている職業奉仕は、五大奉仕部門の中の第二の奉仕部門であり、その他の奉仕部門と同じように奉仕プロジェクトの実践が必要です。自己の職業の品位と道德水準を高め社会から尊重される存在になることだけで満足するのではなく、クラブが開発した実際の奉仕プロジェクトに積極的に参加することが求められています。近江商人の「三方良しの精神」の「売り手良し、買い手良し」は経営理念として大切に育み、そして「世間良し」は実際の奉仕プロジェクトを企画して実践することが我々ロータリアンの使命です。

職業奉仕とは、自分のスキルや知識・人脈など持てるものを使い個人やクラブで時には他の団体と協力して奉仕対象が明確で効果が期待できるプロジェクトを企画・実践することです。

本日のニコニコボックス	5,000 円	累計	203,927 円
金の箱	700 円	累計	15,103 円

◆出席報告 (会員数48名)

出席者数	欠席者数	ビシター	修正出席率
30名	19名	1名	次回にて

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月	2/18	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	2/12	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	2/12・2/19	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	1/30・2/13	京成ホテルミラマール
千葉北RC	水	1/30・2/13	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	1/31・2/14	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	2/14・2/28	京成ホテルミラマール



※第2662回例会

《餅つき懇親夜例会》

日 時⇒ 2019年1月25日(金) 点鐘18:15

集合: 16:30

会 場⇒ 湾岸食堂ちば (中央区中央港 1-10-11)

※第2663回例会

日 時⇒ 2019年2月1日(金) 点鐘12:30

卓 話⇒ 会員卓話 三神 秀樹会員